

京都府青少年育成協会会長奨励賞

「言葉の選び方」

舞鶴市立青葉中学校 3年

早村桃音

私は、言葉はよく選んで発言しなくてはいけないと思います。なぜなら、一つ言葉の選び方を間違えてしまうと、その言葉は人を幸せにする言葉から傷つける言葉に変わってしまうからです。

私がそう思うきっかけになった出来事は二つあります。一つ目は、ある新聞記事を読んだことです。私の学校には、週に二回「朝モラル」というその日の新聞記事から思ったことを書く時間があります。その新聞記事の内容は、いじめによる自殺でした。原因は、暴言を言われ深く心が傷ついたことです。私は、「いじめ」と聞き、暴力と思い浮かんだけれど実際は、体に傷を負ったのではなく心に傷を負ったのだと知り、その時自分自身も暴言によるいじめを知らぬ間にしているのではないかと思いました。自分自身は、軽い気持ちだったり周りを笑わそうとする行動のつもりでも、相手にとっては傷つく出来事だったかもしれないからです。

私は、あるテレビで「言葉は刃物だ」という言葉を聞きました。その時は特に何も感じなかったけれど、今思うとその通りだと思います。一度言ってしまった言葉はどんなに後悔しても、なかったことにはできません。刃物と一緒に、言葉は間違えると心に刺さり、その傷は消すことはできません。だからこそ、もっと言葉に重みを持って発言しなくてはいけないと思います。

二つ目は、SNSによるトラブルです。私も、簡単で便利なものでよく使っています。しかし、簡単だからこそ軽い気持ちで悪口を送ったり、誰かの悪口を言い合い共感するんじゃないでしょうか。私も、友達に友達関係について相談を受けた時、最初は相談に乗っていたけれど徐々にそれは悪口へと変わってしまった経験があります。また、友達もSNSで話をしていて、お互いに意見が合わずけんかになり、それからは話すこともなくなってしまった経験があります。SNSには、便利などのメリットもあるけれどデメリットもあると思います。例えば、お互いの顔を見れないことです。人と会話する時、相手の顔を見ることで喜怒哀楽が分かり、言葉を選ぶことができます。しかし、SNSでは画面しか見れないので本当の気持ちは分かりません。

私自身、友達とSNSを通して話していた時、伝えたいことが相手には思うように伝わらなかったり、逆に相手の話について行けなかったりしたことが多くあります。なので、本当に伝えたいことは相手と直接会い、話したほうが良いと思います。すると、間違った言葉を使わず、お互いの意見を理解し合うことができると思います。

私は、言葉は素晴らしいものだと思います。なぜなら、自分の気持ちを言葉で表現できるのは人間だけだからです。例えば、動物は、鳴くことでしか感情を表現できません。だから体調が悪くてもすぐに飼い主は気づくことができません。しかし、人間は「しんどい」と言葉にすることができます。話せることは、私たちにとってはあたり前のことだけれど本当は素晴らしいことだと思います。けれど、私たちは一時の感情で簡単に誰かを傷つけたり、存在を否定したりしています。だからこそ、私たちに「言葉」について考える必要があると思います。

言葉は、簡単に人を幸せにすることも喜ばせることもできます。逆に、不幸にすることも傷つけることもできます。だからこそ、その場の感情任せにするのではなく、自分が本当に伝えたいことは何かを考えて発言できる人になりたいです。言葉選びを一つ間違えただけで、その言葉は刃物に豹変してしまいます。後からどんなに後悔しても、その言葉は相手の心に傷となり残ります。だから、言葉はよく選んで、不幸ではなく幸せにする魔法の言葉として使いたいです。